

—ダウンロード特典— VBA開発支援ツール 階層化フォーム

付録 1

階層化フォームの 基本設定

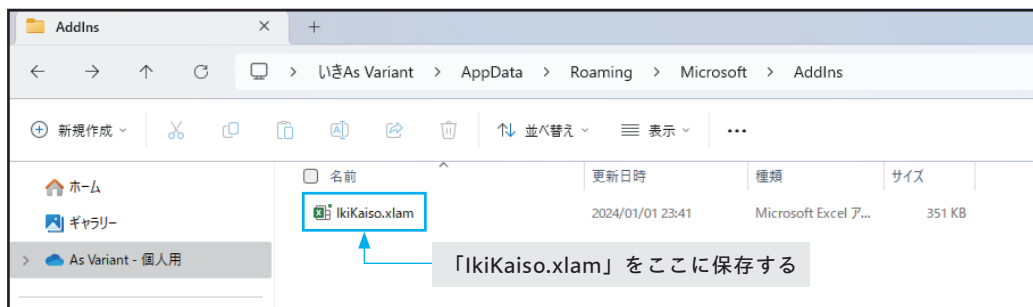
ここでは、「階層化フォーム」の
基本設定を解説します。

いつでも階層化フォームを起動できるようにするために、
起動処理をリボンに登録する方法と、
階層化フォームを使用できるようにするための

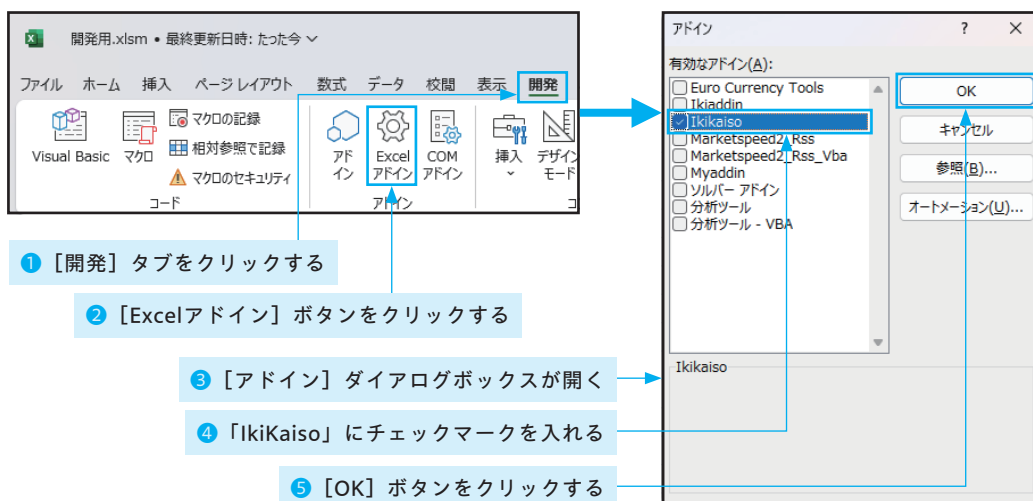
Excel自体の設定(VBAプロジェクトへのアクセス許可)について解説します。

付 1 - 1 IkiKaiso.xlamの準備

まずは「IkiKaiso.xlam」をアドインの保存先フォルダ（以下「アドインフォルダ」）「C:\¥Us-ers¥[ユーザー名]\¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥AddIns」に保存してください。



「IkiKaiso.xlam」をアドインフォルダへ保存したら、[開発] タブの [Excelアドイン] ボタンをクリックして表示される [アドイン] ダイアログボックスで「有効なアドイン」一覧に表示される「IkiKaiso」にチェックマークを入れて [OK] ボタンをクリックします。

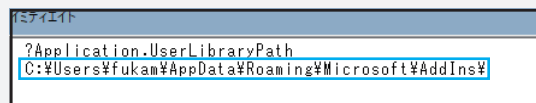


Column アドインの保存先フォルダの特定方法の裏技

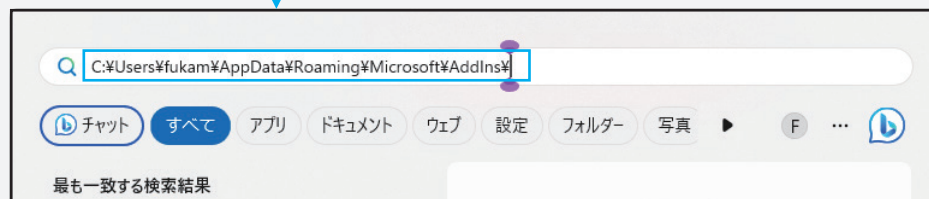
アドインの保存先フォルダの特定には裏技があります。

実は、アドインの保存先フォルダはイミディエイトウィンドウで「Application.UserLibraryPath」で表示できます。

そして、そのフォルダパスをコピーして、Windowsキーを押して表示されるドキュメント検索に貼り付けて [Enter] キーを押すとそのフォルダをすぐに起動できます。より早くアドインフォルダを起動する方法ですので、ぜひ試してみてください。



Windowsキーを押してドキュメント検索にコピー



付 1 - 2 VBAプロジェクトへのアクセス許可設定

次に、Excelのオプションで「VBAプロジェクトへのアクセス許可」を設定します。
これは、以下の手順で操作してください。

② [マクロのセキュリティ] ボタンをクリックする

① [開発] タブをクリックする

③ [トラストセンター] ダイアログボックスが開く

⑤ [VBAプロジェクトオブジェクトモデルへのアクセスを信頼する (V)] にチェックマークを入れる

④ [マクロの設定] をクリックする

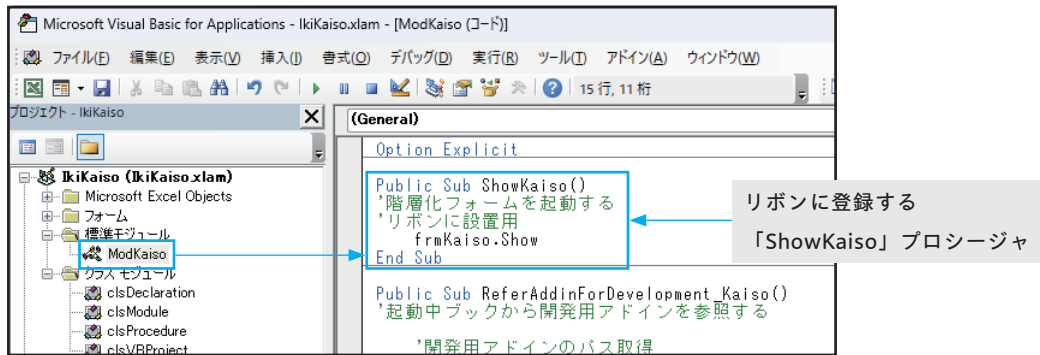
⑥ [OK] ボタンをクリックする

付 1 - 3 リボンへの登録

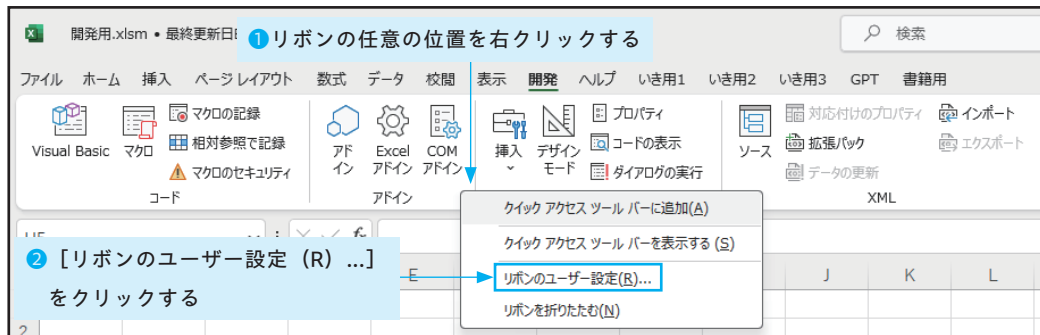
次に、階層化フォームの起動ボタンをリボンに登録して、リボンのクリックで階層化フォームを簡単に起動できるようにします。

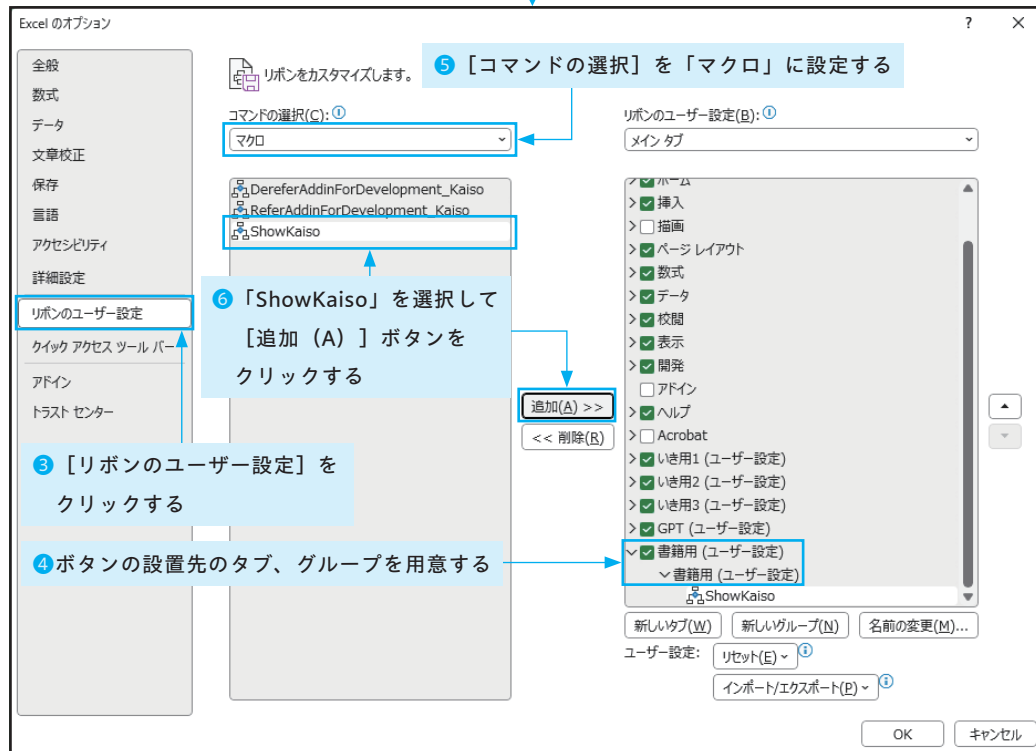
その前に、起動中の「IkiKaiso.xlam」のVBAコードを確認しましょう。

「IkiKaiso.xlam」の中に標準モジュール「ModKaiso」があり、その先頭に「ShowKaiso」プロシージャがあります。「ShowKaiso」プロシージャは階層化フォーム（ユーザーフォームのオブジェクト名は「frmKaiso」）を起動する処理で、この「ShowKaiso」プロシージャをリボンに登録します。

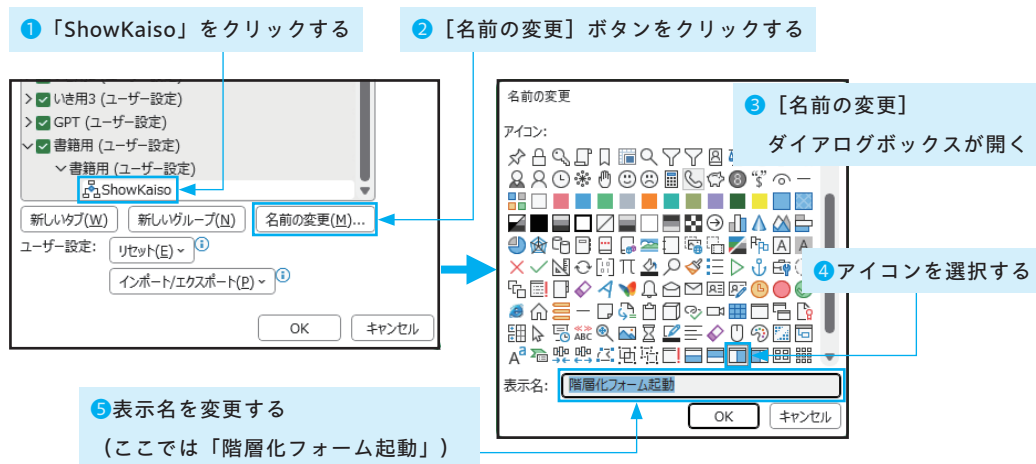


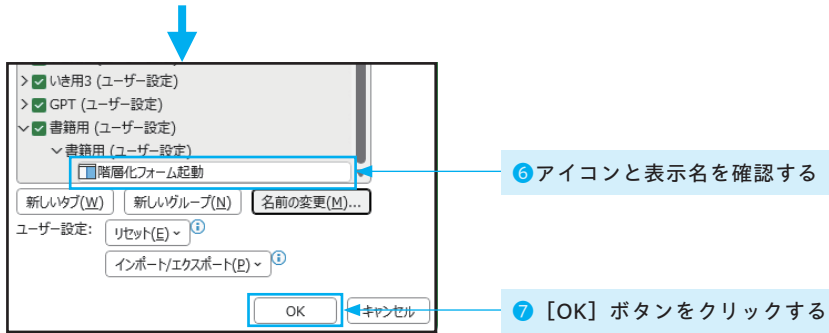
では、本書の第12章で解説した「マクロのリボン登録手順」の一部復習になりますが、次の手順で作業をしてください。





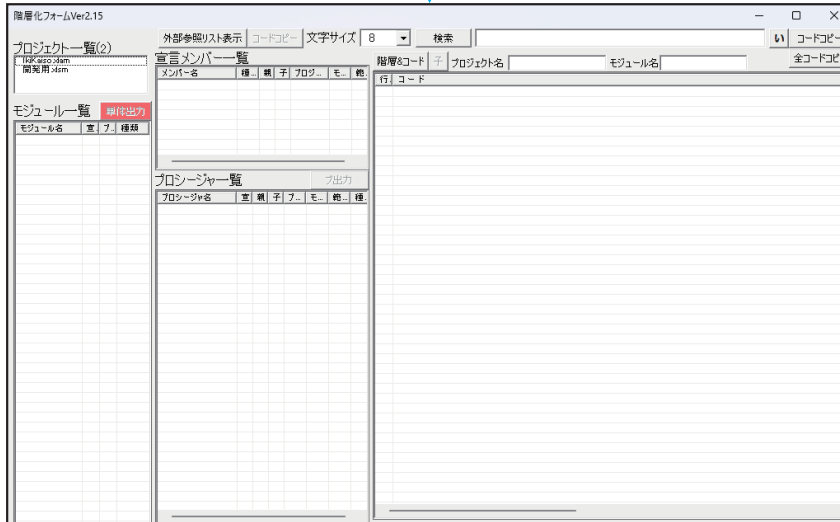
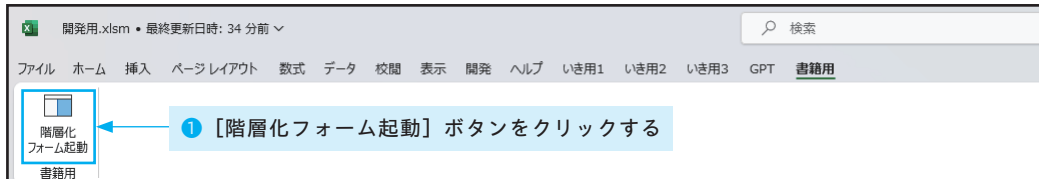
次に、設置したボタンの表示名やアイコンも分かりやすいように変更します。





最後に、リボンに登録できたかの確認を行いましょう。

リボンに「階層化フォーム起動」ボタンが設置されており、ボタンをクリックして次のようなユーザーフォームが起動すれば設定は完了です。



2 階層化フォームが起動する

Column

「lkiKaiso.xlam」を開発用アドインとして利用する

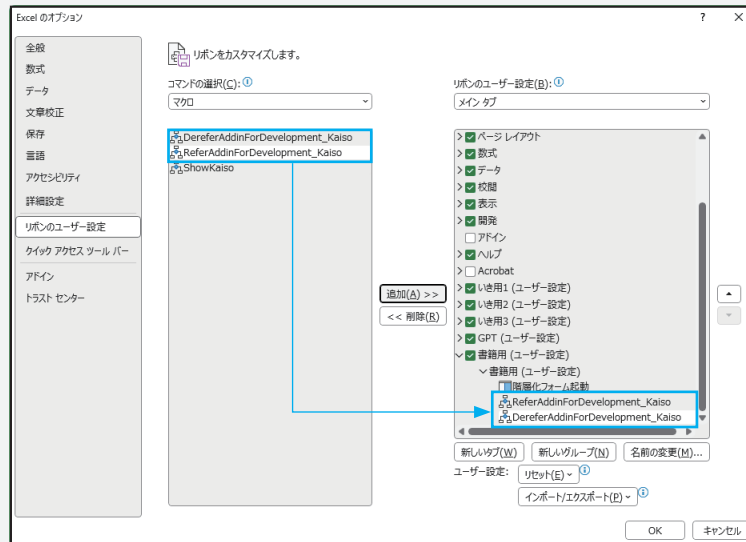
「lkiKaiso.xlam」には、本書の第12章までに紹介した汎用プロシージャやリボン登録用マクロなども組み込まれています。

したがって、この「lkiKaiso.xlam」はそのまま開発用アドインとしても利用できるようになっています。

具体的には、12-7で紹介した「[開発用アドイン参照](#)」と「[アドイン参照解除](#)」のマクロが「ReferAddinForDevelopment_Kaiso」と「DereferAddinForDevelopment_Kaiso」のプロシージャ名で記述してあります。

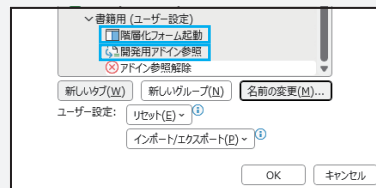
この2つのマクロを12-7と同様にリボンに登録する手順も説明しておきます。

まず、次のように2つのマクロをそのまま追加してください。



次に、さきほど解説した手順でボタンのアイコンと表示名を変更します。

こちらはご自身がわかりやすければなんでもかまいませんが、ここでは次のように変更します。



完了したら次のようになりますので、動作を確認してみてください。

